

2023年度卒業生成長実感調査について（報告）

2023年度の卒業生について、卒業時に学士課程全体を通じた成長実感を測定するため、アンケート調査を実施しましたので報告いたします。

1. 調査概要

(1)趣旨

中央教育審議会答申の中で示された3つの方針について、その方針に基づく人材育成に関して、卒業時の学修成果の測定を卒業生の自己評価にて行う。

調査結果は、学修成果の傾向を把握するとともに、学修支援体制整備に資することを目的とする。

(2)調査概要

実施日：2024年2月19日～3月31日※アンケートフォーム配信

対象者：医療保健学部卒業生91名（口腔工学科24名/口腔保健学科67名）

回答率：97.8%（有効回答者数：口腔工学科24名/口腔保健学科65名）

(3)調査項目

「卒業認定・学位授与の方針」（以下「ディプロマ・ポリシー」という。）に関連した自己評価項目10項目及び「カリキュラムに関する満足度」を尋ねる項目10項目

【自己評価基準】

- 5：100%基準を満たしていると思う。
- 4：80%は基準を満たしていると思う。
- 3：50%は基準を満たしていると思う。
- 2：ほとんど基準を満たしていないと思う。
- 1：そのような力は全く身につかなかったと思う。

【カリキュラム評価基準】

- 5：十分身に付けられるカリキュラムであった（満足度100%）
- 4：ある程度身に付けられるカリキュラムであった（満足度80%）
- 3：どちらとも言えない（満足度50%）
- 2：あまり十分なカリキュラムではなかった（満足度30%）
- 1：対応できるカリキュラムではなかった

<ディプロマ・ポリシー対応表>

- DP1：医療に係わる専門職としての基本的な知識力、技能力、判断力、問題解決力を有している。
- DP2：自らの講義・実習で得た知識・技能・態度をもとに導き出せた内容を適切に提示できる能力を有している。
- DP3：口腔保健に関する知識、技能及び技術に対して、科学的探究心と向上心を有している。
- DP4：医療、福祉及び関連する制度に関する広い知識をもち、人々の口腔の健康に寄与できる。
- DP5：人と温かく接し、歯科医療を通じて社会に貢献する高い倫理観と人間性を持っている。

①科学的探究心と向上心	DP 3
②健康福祉の増進に関わる知識	DP 1
③医療人としての倫理観と人間性	DP 5
④対象者に応じたコミュニケーション能力	DP 5
⑤口腔ケアに関する専門的な知識	DP 1・2

⑥口腔ケアに関する専門的な技能	DP 1 ・ 2
⑦専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲	DP 3 ・ DP 4
⑧多職種連携の意義を理解し、協働する力	DP 3 ・ DP 4
⑨超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力	DP 2 ・ DP 4
⑩課題解決力	DP 2 ・ DP 4

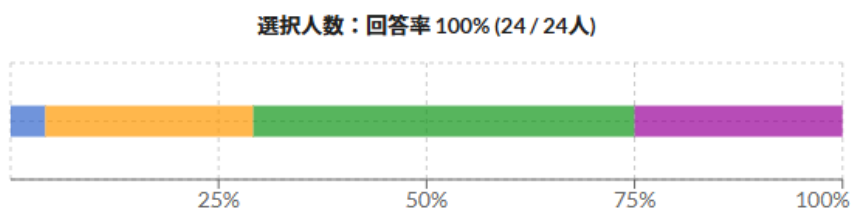
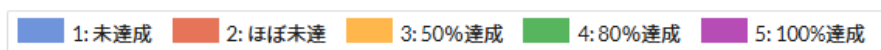
2. 結果

口腔工学科

(1) 自己評価

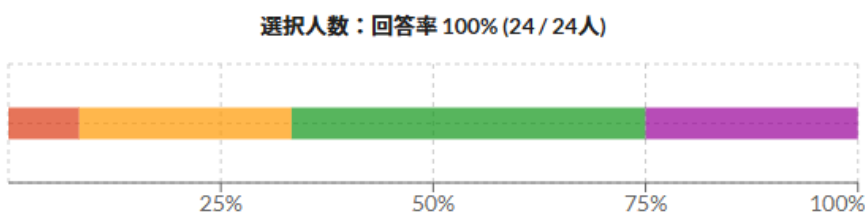
質問1 科学的探究心と向上心

対象者を真に理解するために自分を客観的に評価し、かたよりのない幅広い人間観をもって、自らを向上し続けることができる力



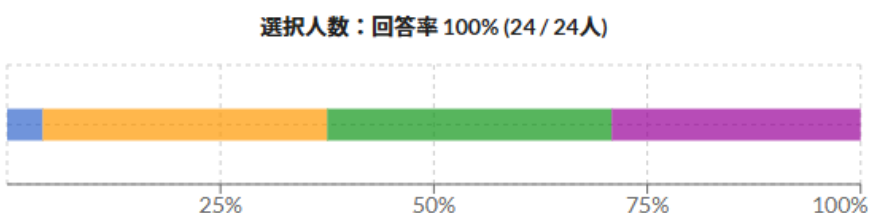
質問2 健康福祉の増進に関わる知識

健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持・増進するために、口腔機能・口腔工学・多職種との連携の基本となる知識を習得し、口腔内装置を作成できる力



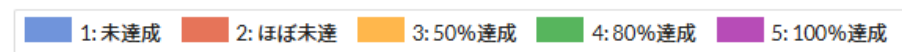
質問3 医療人としての倫理観と人間性

歯科医療、研究を行うために生命と医療にかかわる倫理の重要性を理解し、その概要を説明できる

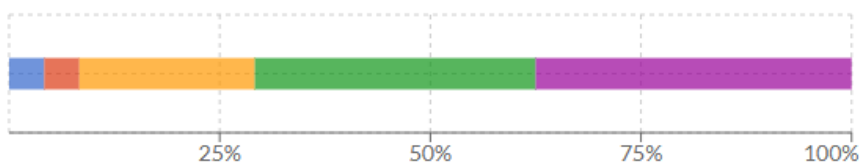


質問4 対象者に応じたコミュニケーション能力

対象者の心を開き、本当の気持ちを聞く傾聴の技術やコミュニケーション能力を身につけている

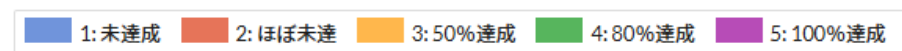


選択人数：回答率 100% (24 / 24人)

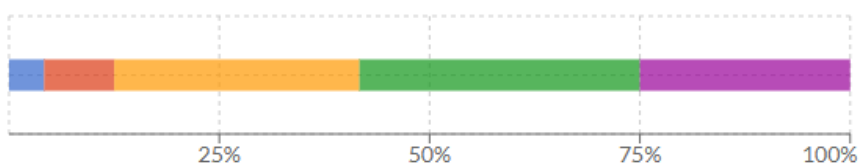


質問5 歯科技工に関する専門的な知識

人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために歯科衛生士・歯科技工士に関する専門知識を体系的に正しく理解し、原理から応用まで説明できる

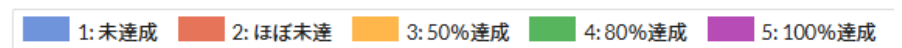


選択人数：回答率 100% (24 / 24人)

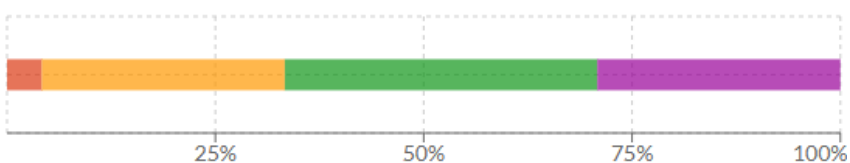


質問6 歯科技工に関する専門的な技能

歯科衛生士・歯科技工士としての技能及び態度を取得し、患者の心理・社会的背景を踏まえながら患者目線で実践する力



選択人数：回答率 100% (24 / 24人)

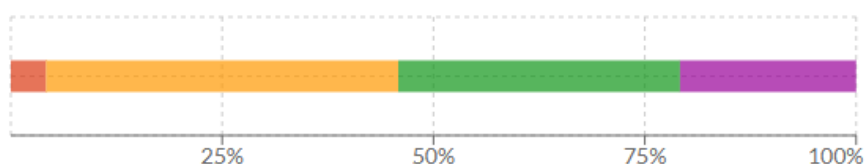


質問7 専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲

歯科に対する社会的ニーズや歯科医療業界を取り巻く環境が日々変化していることを認識し、新たな役割を的確に対応できる資質と能力を学び続ける意欲と意思がある

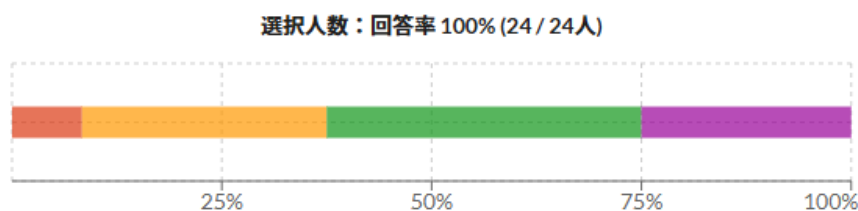
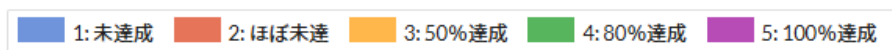


選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



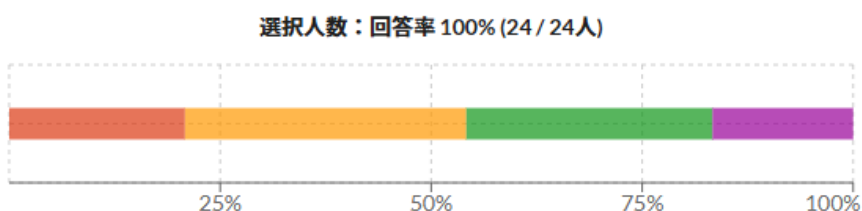
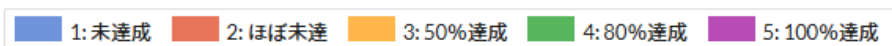
質問8 多職種連携の意義を理解し、協働する力

保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科衛生士・歯科技工士の役割ややるべきことを理解し、説明できる



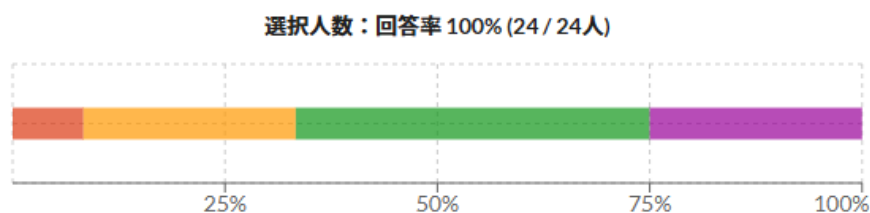
質問9 超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力

チーム医療、社会保障、地域包括ケア、訪問歯科医療、災害医療など、歯科医療の役割、使命について理解し、説明できる

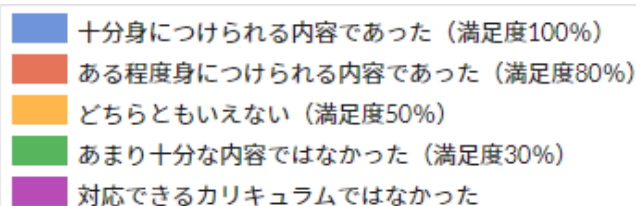


質問10 課題解決力

患者の口腔の健康に関する問題の本質をとらえ、課題の解決に向けた工程を明らかにし、現実的な課題解決策を提示することができる

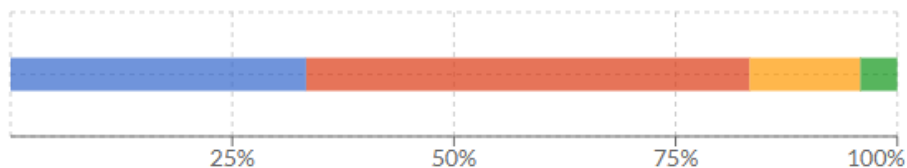


(2) カリキュラムに関する満足度



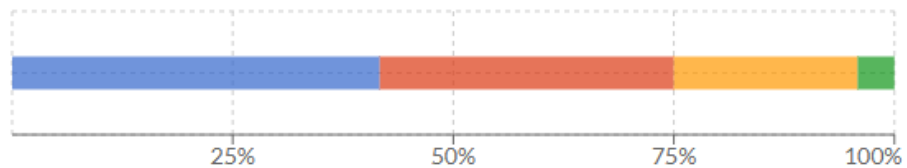
質問1 科学的探究心と向上心

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



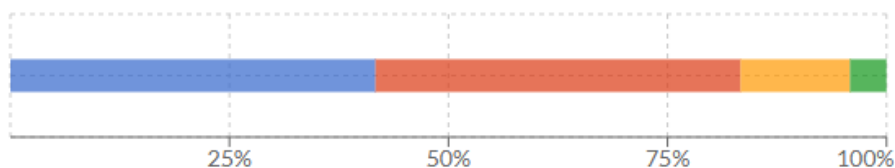
質問2 健康福祉の増進に関わる知識

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



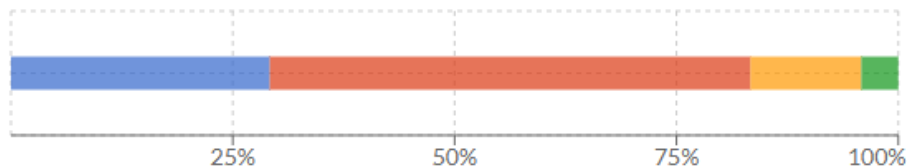
質問3 医療人としての倫理観と人間性

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



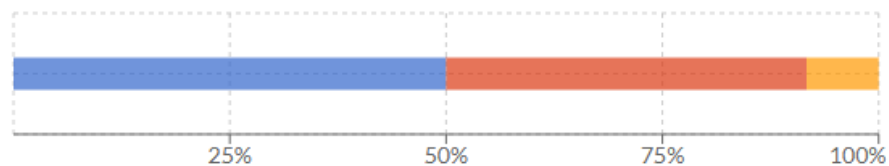
質問4 対象者に応じたコミュニケーション能力

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



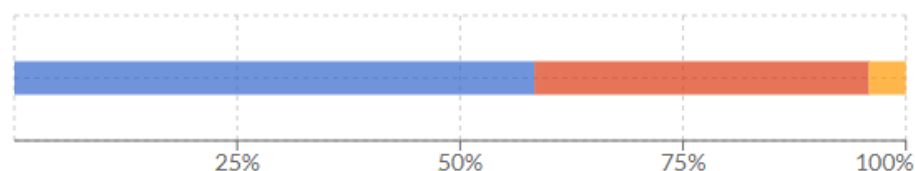
質問5 歯科技工に関する専門的な知識

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



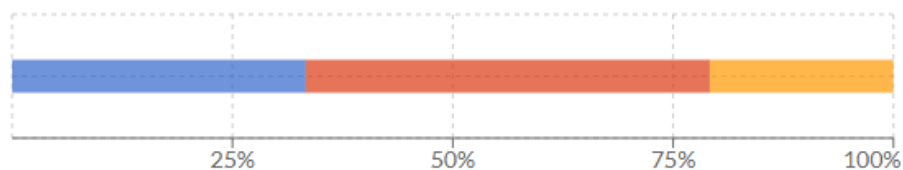
質問6 歯科技工に関する専門的な技能

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



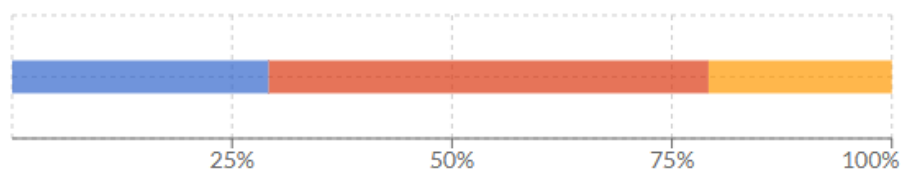
質問7 専門性をいかし、口腔医療業界を主体的にけん引する気概と意欲

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



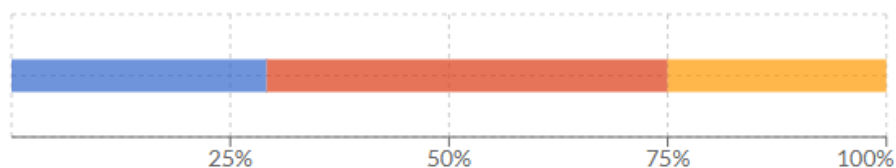
質問8 多職種連携の意義を理解し、協働する力

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



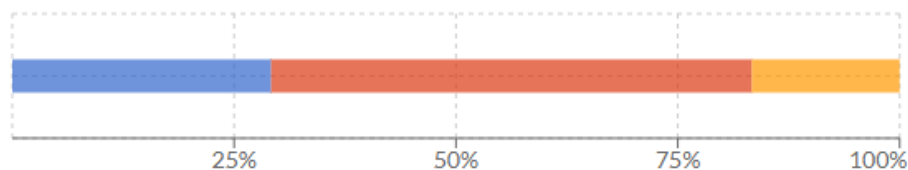
質問9 超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



質問10 課題解決力

選択人数：回答率 100% (24 / 24人)



口腔保健学科

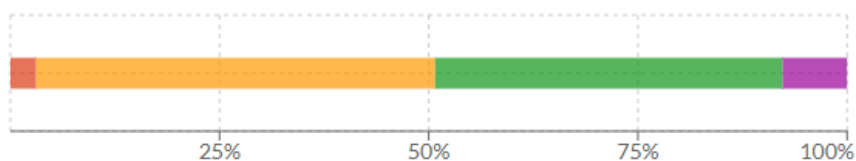
(1) 自己評価

質問1 科学的探究心と向上心

対象者を真に理解するために自分を客観的に評価し、かたよりのない幅広い人間観をもって、自らを向上し続けることができる力

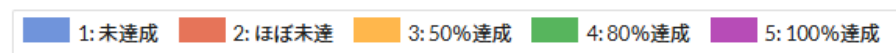
1: 未達成 2: ほぼ未達 3: 50%達成 4: 80%達成 5: 100%達成

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

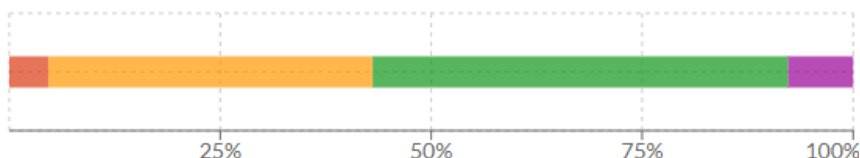


質問2 健康福祉の増進に関わる知識

健康と疾病の概念を理解し、歯・口腔の健康を維持・増進するために、口腔機能・口腔工学・多職種との連携の基本となる知識を習得し、口腔内装置を作成できる力



選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

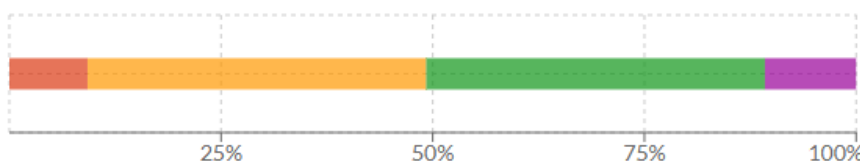


質問3 医療人としての倫理観と人間性

歯科医療、研究を行うために生命と医療にかかわる倫理の重要性を理解し、その概要を説明できる

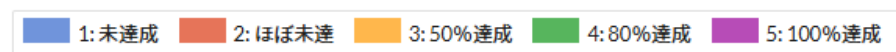


選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

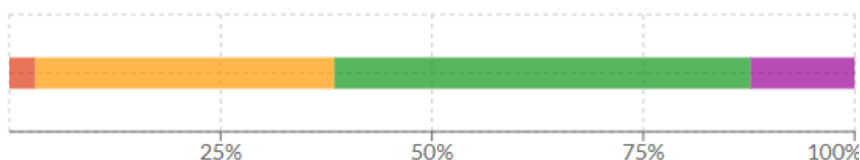


質問4 対象者に応じたコミュニケーション能力

対象者の心を開き、本当の気持ちを聞く傾聴の技術やコミュニケーション能力を身につけている

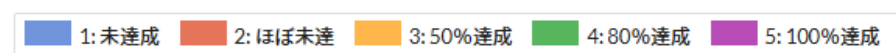


選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

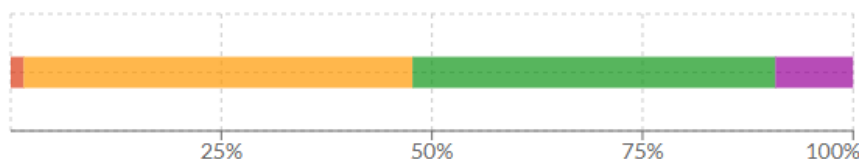


質問5 口腔ケアに関する専門的な知識

人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために歯科衛生士・歯科技工士に関する専門知識を体系的に正しく理解し、原理から応用まで説明できる

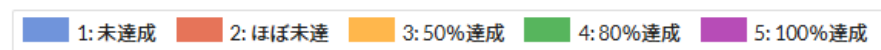


選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

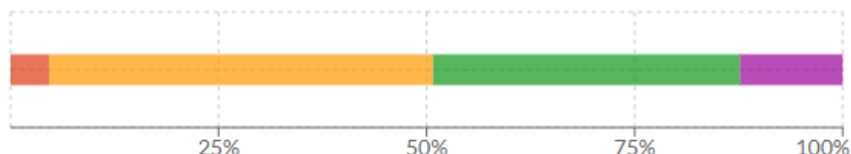


質問6 口腔ケアに関する専門的な技能

歯科衛生士・歯科技工士としての技能及び態度を取得し、患者の心理・社会的背景を踏まえながら患者目線で実践する力



選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

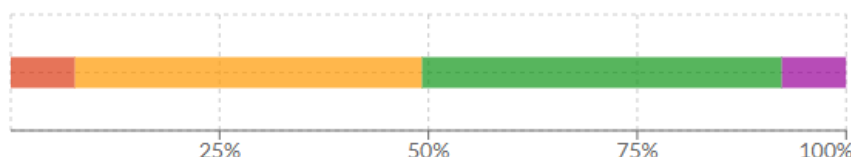


質問7 専門性をいかし、口腔医療の業界を主体的にけん引する気概と意欲

歯科に対する社会的ニーズや歯科医療業界を取り巻く環境が日々変化していることを認識し、新たな役割を的確に対応できる資質と能力を学び続ける意欲と意思がある



選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

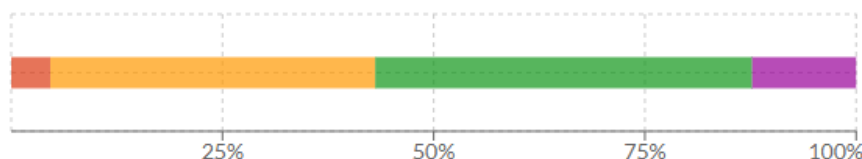


質問8 多職種連携の意義を理解し、協働する力

保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科衛生士・歯科技工士の役割ややるべきことを理解し、説明できる



選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

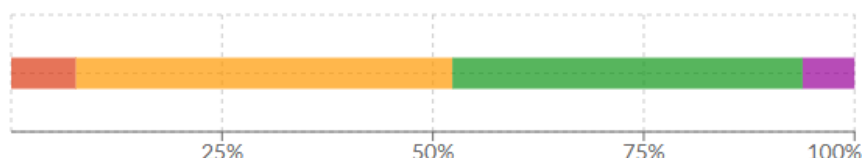


質問9 超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力

チーム医療、社会保障、地域包括ケア、訪問歯科医療、災害医療など、歯科医療の役割、使命について理解し、説明できる

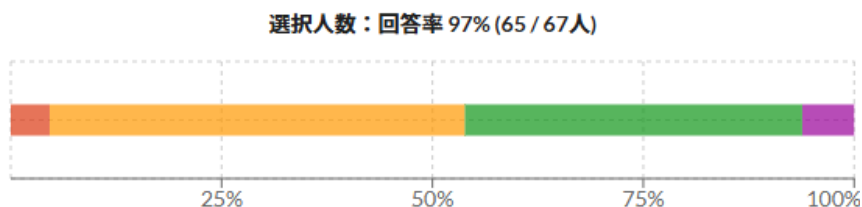


選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

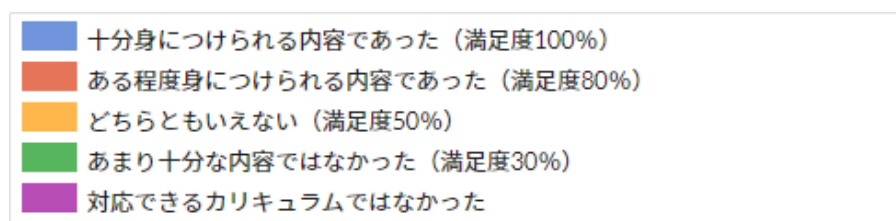


質問10 課題解決力

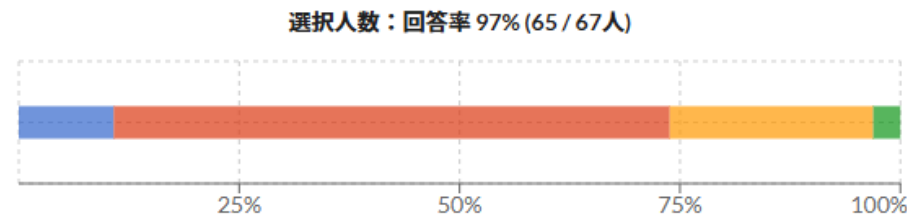
患者の口腔の健康に関する問題の本質をとらえ、課題の解決に向けた工程を明らかにし、現実的な課題解決策を提示することができる



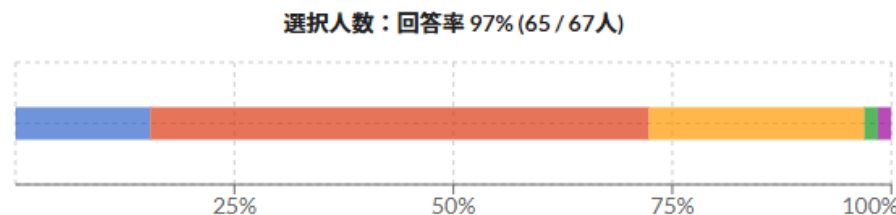
(2) カリキュラムに関する満足度



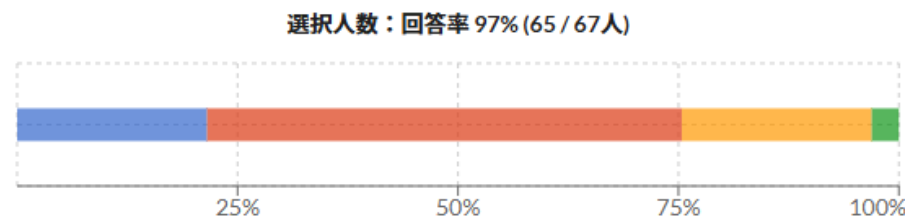
質問1 科学的探究心と向上心



質問2 健康福祉の増進に関わる知識

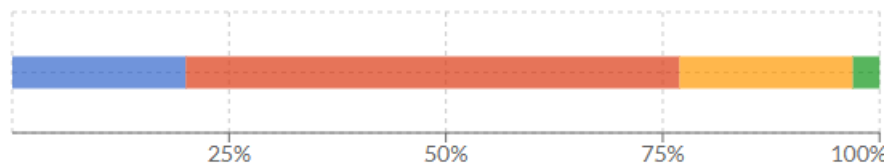


質問3 医療人としての倫理観と人間性



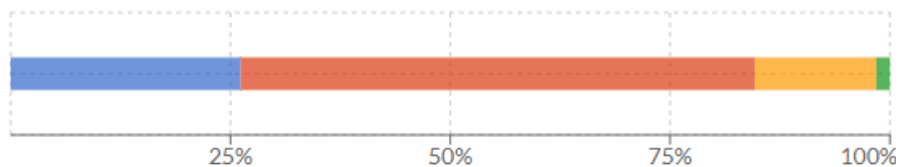
質問4 対象者に応じたコミュニケーション能力

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)



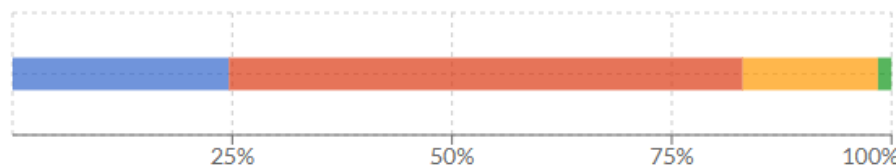
質問5 口腔ケアに関する専門的な知識

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)



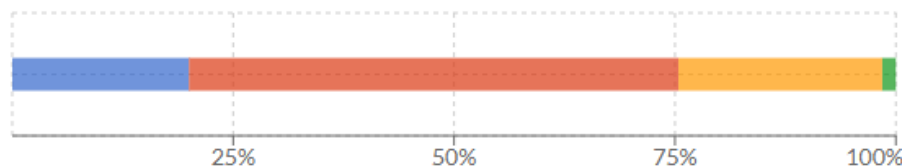
質問6 口腔ケアに関する専門的な技能

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)



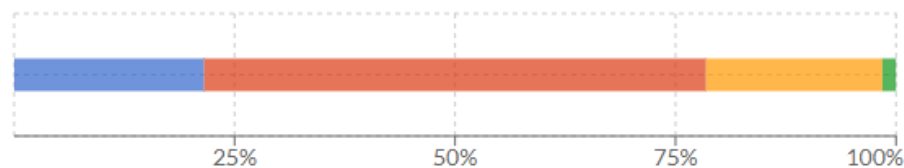
質問7 専門性をいかし、口腔医療業界を主体的にけん引する気概と意欲

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)



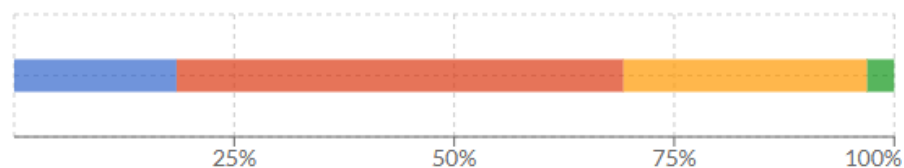
質問8 多職種連携の意義を理解し、協働する力

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)



質問9 超高齢化社会の課題に主体的に取り組む力

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)



質問10 課題解決力

選択人数：回答率 97% (65 / 67人)

